

機械器具（21）内臓機能検査用器具
高度管理医療機器 重要パラメータ付き多項目モニタ（33586003）

「生体情報モニタ IntelliVue」の付属品 メインストリーム CO₂ トランスデューサ

【禁忌・禁止】

1. 使用方法

本品を可燃性麻酔薬を使用している場所では使用しないこと。
[爆発の危険性]

【形状・構造及び原理等】

1. 外観

本品は、呼吸回路に接続されたエアウェイアダプタに直接取り付けてガスを測定するトランスデューサである。



2. 仕様

製品番号	備考
M2501A	1個

【使用目的又は効果】

生体情報モニタ IntelliVue は、組み込み機能キット、モジュール、他の装置を利用していくつかのモニタリングパラメータを収集し、ベッドや患者別に表示するユニットをいう。ベッドサイドユニットは、セントラルモニタと接続することができるが、単独でも動作可能である。モニタリングパラメータには心電図、血圧、体温、心拍数、呼吸ガス等があり、加えて脳波測定・解析機能を有し、かつ重要パラメータである不整脈検出・無呼吸検出を行う。

【使用方法等】

本品は、「生体情報モニタ IntelliVue MP5」（承認番号：22000BZX00798000）にも使用することができる。

1. 本品のコネクタをモニタ本体の CO₂ コネクタに接続する。
2. トランスデューサが動作温度に達して温度状態が安定するまで約2分間待つ。
3. 適切なエアウェイアダプタを選択し、トランスデューサの先端に接続する。エアウェイアダプタはカチッと音がするまで押し込む。
4. トランスデューサのゼロ校正を以下の手順でおこなう。
 - トランスデューサを大気に置き、呼吸器及び患者回路から離す。
 - CO₂ の設定メニューでゼロ校正開始を選択する。
 - CO₂ 校正完了<日時>メッセージが表示されたら、ゼロ校正が完了し、モニタリングができる。
5. エアウェイアダプタを患者の呼吸回路近位側のエルボー型チューブと Y ピースの間に入れる。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

1. 使用前に、トランスデューサのウィンドウに汚れや水分の付着がないかチェックすること。
2. 終末呼気二酸化炭素濃度の測定中は、本品に赤外線をあてないこと。
3. 気管内チューブに負荷がかからないように、本品を支えること。

詳細は、生体情報モニタの取扱説明書を参照すること。

【保管方法及び有効期間等】

高温、多湿、直射日光を避け、常温で保管すること。

【保守・点検に係る事項】

1. クリーニング/消毒

- (1) 低刺激性の石鹼水を柔らかい清潔な布につけて、本品の表面全体を清掃する。
- (2) 水で湿らせた布を使用して、本品およびケーブルを拭く。
- (3) 下記消毒剤を使用して柔らかい清潔な布で拭く。
 - イソプロピル・アルコール70%液
 - 次亜塩素酸ナトリウム10%液（漂白剤）
 - Steris Coverage® スプレーHB
- (4) 精製水を少し付けた布を使用して本品およびケーブルを拭く。
- (5) 滅菌はしないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

* 製造販売業者：株式会社フィリップス・ジャパン
・ お客様窓口
電話番号：0120-556-494 平日 9時～18時

製造業者：フィリップス メディツィン システム ボブリンゲン社
(Philips Medizin Systeme Böblingen GmbH)

国 名：ドイツ連邦共和国